

多職種連携による治療アドヒアランス向上に向けた高血圧管理

日本の高血圧患者のうち約7割は血圧値を適切にコントロールできていないとされています。適切な血圧管理を実現するには、患者の心身状況のみならず社会的環境などを踏まえ、生活習慣改善と薬物治療を軸とした適切な介入と包括的な管理が必要です。そのためには、医師だけではなく看護師、薬剤師、栄養管理士などの多職種が連携し、患者自身も納得して共通の目標をもつことにより、患者自身が主体的に治療と管理に臨むことができ、アドヒアランスの向上につながると考えられます。このセッションでは、患者さんの適切な高血圧管理を目指す多職種連携の実際について、コメディカルの立場から現場の取り組み、今後の展望をお話し頂きます。

座長： 宇佐美 哲郎
能勢町国民健康保険診療所

樺山 舞
大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻

基調講演： 宇佐美 哲郎
能勢町国民健康保険診療所

地域ぐるみの取り組みから行動変容に繋げる～家庭血圧測定から健康長寿を目指す『のせけん』と多職種連携～

演者： 糺屋 絵理子
大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻

チームで取り組む高血圧管理 - 看護師の役割 -

真壁 昇
関西電力病院 疾患栄養治療センター

高齢者の栄養食事支援における高血圧対策

須藤 多実香
奈良県総合医療センター 薬剤部

心不全患者にみる高血圧管理～薬剤師の視点から～